

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都市長		平成26年7月24日					
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 大阪市西成区花園町1丁目4番4号		報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) イズミヤ株式会社 代表取締役 四條 晴也					
主たる業種	総合スーパー	細分類番号	5	6	1	1	
事業者の区分	京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ					
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	店舗で継続的に省エネに取り組むことで、無駄の排除に努め基準年度よりH25年には最低3%削減する。						
計画を推進するための体制	計画推進のため、本部営業部とのコミュニケーションを行い、省エネ目標を掲げて取り組んでいる。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (20~22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	11,140.0 トン	10,423.3 トン	9,518.2 トン	9,171.8 トン	-12.9 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	11,345.6 トン	10,089.3 トン	9,108.2 トン	8,588.8 トン	-18.4 パーセント	
実績に対する自己評価		節電行動により実績が上がっている。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	物販	事業活動に伴う排出の量 (売場面積×1/1000)	84.33	77.47	72.10	66.27	-14.69 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
実績に対する自己評価		基準年に比べかなり削減できている。					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		63.0	63.0	63.0	63.0		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	照明機器、冷凍・冷蔵ショーケースの適正な運用管理、設備の更新					
	(24)年度	照明機器、冷凍・冷蔵ショーケースの適正な運用管理、設備の更新					
	(25)年度	照明機器、冷凍・冷蔵ショーケースの適正な運用管理、設備の更新					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	基本は通勤に自動車は使用しない。					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	公共の交通機関で通勤が可能。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	334.0 トン	410.0 トン	583.0 トン			
合計	334.0 トン	410.0 トン	583.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	京都市内店舗4店舗で10回、主に小学3年生を対象としたエコ学習会を行った。計452人の生徒を受け入れた。						
特記事項	H25年7月26日 00405-8612~583トン償却済み 代表取締役の異動により、H26年3月1日付で代表取締役社長に四條晴也が就任						

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。